学校行事参加型＋子育てサロン型＋在宅取組型（小学校）

学校名等	羽島市立堀津小学校
実施日時	平成２７年７月～夏季休業中～９月
会場	堀津小学校、自宅、地域
参加人数	全校児童（１８２名）・保護者
学習課題（分野）	わが家の約束宣言
運営者の願い	充実した夏休みを過ごすためには、「わが家の約束」をしっかり話し合って、実践することだと考えた。 「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カードを活用して取り組むことで、できることを増やしたりできるようになったことを認め励まして、家族の絆を深める。

＜家庭教育学級通信「シャトル」発行＞

・学校と家庭をつなぐ子育て情報を共有する双方向型の通信を発行。

・保護者が見通しをもち、主体的な心構えを促す働きかけをする。（右下参照）

「7月３日（金）の学級懇談会で」・・各家庭の約束について交流する。

「夏休みまでに“約束宣言”を」・・実践カードを配布するので、記入して提出する。

「夏休みに7日間挑戦！」・・1週間挑戦する。互いにメッセージを書く。

＜学級懇談会＞ （サロン型）

『担任の話を聞くだけの懇談会から、子育てについて学び合う懇談会へ』をめざして、学級委員が進め方を確認したうえで、学級懇談会を開催。

①1学期の様子と夏休みについて（15分程度）

②「話そう！語ろう！わが家の約束」について

（事前にリーフレットを配布し、読んでもらう。）

③わが家の約束を交流する。

子どもの名前と自己紹介を兼ね、1分を目安に一人ずつ。互いに子育てを学び合う。

＜「約束宣言」実践カード＞（在宅取組型）

県が作成したこのカードのよさは、実践期間が1週間で、どの家庭も取り組みやすいこと。また、振り返りとして、「子どもから家族へのメッセージ」と「保護者から子どもへのメッセージ」があること。約束を実践しての喜びや子どもへの励ましを確かめ合うことができる。

シャトルに、この取組の価値づけがされている。

「お子さんを叱りつけるための取組ではありません。

少しずつできることを増やしていく。

少しずつできるようになったことを大きく認め励ます。

机に向かう学習ではないけれども、大人になっていく上で大切なものを家庭で学習する機会です。」

＜「わが家の約束宣言」より＞

◇「１日のなかで、かぞくのキラキラさがしをする」

子どもから 「わたしのよいところを見つけてもらえてうれしかった。」

保護者から「普段はケンカばかりしているけど、よいところを見つけて、言ったり言われたりしている顔は、キラキラしていましたね。」

◇「1、ゲームの時間は1日30分（時計を見て終わる時間を確認） 2、家族そろってご飯を食べる。」

子どもから 「ゲームの時間を守れてうれしい。家族でご飯を食べれてよかった。」（1日1回は）

保護者から「ゲームを始める時、時計を見て時間を確認できました。習慣になったね。家族そろってご飯を食べた日も多くてよかったね。」

「みんなで家庭教育！」「約束宣言」実践カード

①岐阜県教育委員会作成のリーフレット「みんなで家庭教育！」を活用して約束宣言について周知している。

②「話そう！語ろう！わが家の約束」実践カードのよさを生かして取り組み、家族の絆を深めている。

学校行事参加型＋子育てサロン型＋在宅取組型

①学校行事参加型（授業参観と学級懇談会）で、家庭教育学級を開催。

②学級懇談会では、「わが家の約束」について学び合うサロン型を実施。

③各家庭の具体的な約束の交流をふまえて、「約束宣言」を作成し、在宅取組型で実施。